

【平成 28 年度(2016 年度)】

1. 研修会・講演会

① 主催・共催

福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2016. 7. 10(日)	福井医療短期大学 2F 江上ホール	講演① 「高次脳機能障害について」 講演② 「あきらめないで生きる」 座長	講演① 福井総合病院 言語聴覚療法士 谷原 直樹 講演② 公益財団法人 藤沢市みらい創 造財団スポーツ事業課 スポーツ事業担当 石井 雅史 氏 高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 中島 裕也	103 名

高次脳機能障害セミナー

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2016. 11. 15(土)	福井県自治会館 多目的ホール	特別講演 「脳卒中のリハビリテーションにおける高次脳機能障 害」 一般講演 「右半球とコミュニケーション」 座長	藤田保健衛生大学医学部 リハビリテーション医学Ⅱ講座 教授 前島 伸一郎先生 福井医療短期大学 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 保屋野 健悟 福井総合病院 リハビリテーション科 部長 小林 康孝	92 名

高次脳機能障害教室

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2016. 4. 7(木)	福井総合病院 4階食堂	「記憶障害の対処法とリハビリテーションの実際」	城鼻 一江	14名
2016. 5. 22(日)	福井総合クリニック 6F大ホール	①「高次脳機能障害支援センターの取り組み～高次脳機能障害ってなに?～」 ②「高次脳機能障害者の社会保障制度～障害者手帳・障害年金・成年後見制度～」 ③「高次脳機能障害者への就労支援について」	山内 里紗 柳瀬 智美 大嶋 康介	42名
2016. 6. 9(木)	福井総合病院 4階食堂	「高次脳機能障害への生活支援」	川端 香	22名
2016. 8. 4(木)	福井総合病院 4階食堂	「遂行機能障害の対処法とリハビリテーションの実際」	堀江 仁志	14名
2016. 10. 6(木)	福井総合病院 4階食堂	「社会的行動障害とその対処法」	高橋 宣弘	10名
2016. 11. 27(日)	福井総合クリニック 6F大ホール	①「高次脳機能障害に対する集団リハビリテーション」 ②「高次脳機能障害～自動車運転について～」 ③「小児の高次脳機能障害」	橋本 志保理 高間 千晶 中島 裕也	16名
2016. 12. 8(木)	福井総合病院 4階食堂	「注意障害(左半側空間無視)の対処法とリハビリテーションの実際」	谷原 直樹	14名
2017. 2. 9(木)	福井総合病院 4階食堂	「運動と高次脳機能」	山口 奈央	6名

高次脳機能障害関係者研修

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者	参加者数
2016. 7. 10(日)	福井医療短期大学 5階講堂	高次脳機能障害者の支援～対応について考えてみよう～		27名

②外部からの依頼講演、勉強会

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・発表者
2016. 6. 12(日)	畿央大学	畿央大学ニューロリハビリテーションセミナー 機能編 A 「言語の脳内機構」	河村民平
2016. 6. 25(土)	福井県	あおい福祉会内勉強会 「高次脳機能障害に対する支援」	中島裕也
2016. 7. 3(日)	青丹学園	奈良県言語聴覚士会総会 特別講演会 「言語の脳内機構 ー最近の知見をもとにー」	河村民平
2016. 7. 27(水)	福井県	ネクステクノ(株)所内勉強会 「高次脳機能障害に対する支援」	中島裕也
2016. 10. 30(日)	金沢市文化ホール	リハビリテーション医療における医療安全ー高次脳機能障害患者を中心にー	小林康孝
2016. 11. 13(日)	京都府立医科大学 図書館ホール	高次脳機能障害のリハビリテーションと地域連携	小林康孝

2016. 11. 13(日)	福井県立病院	第4回 福井県神経理学療法学会 セミナー 「神経科学から見た言語（高次脳機能）の階層構造と運動」	河村民平
2016. 11. 23(水)	福井県医師会館	高次脳機能障害による認知機能低下と自動車運転について	小林康孝
2016. 11. 25(金)	福井市保健センター	相談支援専門員研修 「高次脳機能障害を理解するー支援者としての上手な付き合い方ー」	中島裕也
2017. 3. 5 (日)	福井医療短期大学	第5回福井県作業療法学会 「高次脳機能障害に対する支援という向き合い方 ー支援コーディネーターの立場から学んだことー」	中島裕也

2. 院内勉強会

高次脳機能障害勉強会

開催日時	内容	発表者
5月30日	[英文抄読] 「Awareness and compensation in postacute head injury rehabilitation」	OT 川端香
	[英文抄読] 「小脳の言語予測機能」	ST 河村民平
6月13日	[プレ発表] 「高次脳機能障害について～運動との関係～」 ・Acute moderate exercise elicits increased dorsolateral prefrontal activation and improves cognitive performance with Stroop test ・高次脳機能障害者の認知機能に対するリハビリテーション体育の影響について ・レクリエーション活動前後の気分プロフィール変化について	ST 谷原直樹
	[英文抄読] 「運動と記憶」	PT 堀江仁志
6月27日	[文献抄読] 「小児の高次脳機能障害（概要・評価 Ver）」 ・よくわかる 子供の高次脳機能障害 ・小児の高次脳機能障害 ・子どもたちの高次脳機能障害-理解と対応-	OT 中島裕也
	[プレ発表] 「低酸素脳症と高次脳機能障害」 ・低酸素脳症の社会復帰支援の研究～復帰に向けた医療と福祉連携の取り組み～ ・低酸素脳症の記憶障害の経過	OT 橋本志保理
7月11日	[英文抄読] 「Breakdown of Functional Connectivity in Frontoparietal Networks Underlies Behavioral Deficits in Spatial Neglect」	OT 松井政幸
7月25日	[英文抄読] 「Neural Substrates of Cognitive Subtypes in Parkinson's Disease:A 3-Year Longitudinal Study」	PT 城鼻一江
	[プレ発表] 「白質脳症1例の脳梁離断症状の検討-左・右半球機能の伝達障害を中心に-」 ・Disconnexion syndromes in animals and man, Brain88 ・脳梁離断症状 ・脳梁および近傍領域損傷による高次脳機能障害	ST 高橋宣弘
	[プレ発表] 「社会的行動障害を呈した症例」 ・社会的行動障害ののみかた ・社会的行動障害への心理学アプローチ	ST 富澤俊介

8月1日	[英文抄読] 「Treatment to improve self-awareness in persons with acquired brain injury」	OT 川端香
8月22日	[英文抄読] 「Gender Differences in the Functional Organization of the Brain for Emotional Prosody Processing」	ST 新谷純
8月29日	[英文抄読] 「Hyperscanning MEG for understanding mother-child cerebral interactions」	PT 久保下亮
9月5日	[英文抄読] 「Correlation between midline gait function performance and verbal fluency in patients with Parkinson's disease」	PT 城鼻一江
	[文献抄読] 「小児の高次脳機能障害 リハビリ・支援」 ・小児の高次脳機能障害 診断と治療 ・小児の高次脳機能障害に対する評価 ・わかりやすい小児の高次脳機能障害対応マニュアル	OT 中島裕也
9月12日	[英文抄読] 「Facial Emotion Recognition in Parkinson's Disease:An fMRI Investigation」	ST 河村民平
9月26日	[プレ発表] 「脱抑制を中心とした社会的行動障害を呈した症例」 ・社会的行動障害を有する患者に対するアイオワギャンプリング課題の実施について ・前頭葉関連症状と社会的行動障害-動機的セイリアンス障害- ・社会的行動障害の症候学	ST 谷原直樹
	[文献抄読] 「認知機能を高める低強度運動」 ・脳を鍛えるには運動しかない ・運動が高める海馬の神経新生とグリコゲン量 ・海馬の可塑性を高める軽運動効果	PT 堀江仁志
10月3日	高次脳機能障害の ADL・APDL 評価	OT 北川妙子
	発達におけるワーキングメモリ	OT 杉本志保理
	セルフアウェアネスと心理的ストレス	OT 牧野彩乃
10月24日	失語症者1例の言語と空	ST 高橋宣弘
	[英文抄読] Intentional gaze shift neglected space:a compensatory strategy during recovery after unilateral spatial neglect	OT 松井政幸
11月7日	半側空間無視患者の障害の自己認識について	OT 川端香
11月21日	プロソディアを主徴とした右中大脳動脈領域の脳梗塞の1例	ST 新谷純
	失行症状を認める大脳皮質基底核変性症患者	OT 北川妙子
12月12日	親子の関係性が脳機能に与える影響	PT 久保下亮
	認知リハのエビデンス	ST 富澤俊介
12月26日	前頭葉機能について	ST 谷原直樹
	運動と記憶	PT 堀江仁志
	Does Cognitive Impairment Affect Rehabilitation Outcome in Parkinson's Disease	PT 城鼻一江

1月16日	事例検討会について	OT 中島裕也
2月6日	左右の手での書字中の前頭葉オキシヘモグロビン濃度変化-fNIRS 研究-	ST 高橋宣弘
	喚語困難の分類	ST 富澤俊介
2月20日	物体方向失認について	ST 新谷純
	着衣失行を呈した症例	OT 北川妙子
3月6日	Frequency of Maternal Touch Predicts Resting Activity and Connectivity of the Developing Social Brain	PT 久保下亮
	社会的行動障害の背景	OT 杉本志保理
	小児高次脳機能障害に対する集団リハビリテーションの取り組み	OT 松井政幸

3. 講習会・学会等への参加

①発表・座長

開催日	開催場所	内容・演題名	講演者・ 発表者・共同演者
2016.4.10(日)	福井県立大学	第14回福井県言語聴覚学会(座長)	富田浩弘(座長)
		第14回福井県言語聴覚学会 「左視床梗塞により意味カテゴリー特異性が認められた失語症例」	○高橋宣弘、河村民平、能登谷晶子、富田浩生、富澤俊介、佐藤万美子
2016.6.9(木) ~11(土)	京都	第53回日本リハビリテーション医学会学会 「脳卒中後の高齢者における実車テスト結果の予測因子は何か」	○小林康孝、村松倫子、佐藤万美子、林広美、三浦豊章
		「回復期リハビリテーション病棟入院中の高次脳機能障害患者における精神症状出現に関する因子の検討」	○佐藤万美子、村松倫子、林広美、三浦豊章、小林康孝
		第53回日本リハビリテーション医学会学会 高次脳機能障害2(座長)	小林康孝(座長)
2016.6.10(金) ~11(土)	京都	第17回日本言語聴覚学会 「左視床梗塞により意味カテゴリー特異性が認められた1例」	○高橋宣弘、河村民平、能登谷晶子、富田浩生、富澤俊介、佐藤万美子
		パーキンソン病の表情認知能力とそのメカニズムについて -fNIRS 研究-	○河村民平、高橋宣弘、山口琴音、小林康孝
2016.7.10	福井医療短期大学	福井県リハビリテーション講習会 「高次脳機能障害について～運動との関係～」	○谷原直樹 中島裕也(座長)
2016.9.9(金)~ 11日(日)	北海道・札幌市	第50回日本作業療法士学会 「FAB(Frontal assessment battery)は前頭葉機能を反映するか?～近赤外線分光イメージング装置(NIRS)を用いて～」	○松井政幸、川端香、小林康孝
2016.10.16(日)	福井県立大学	第16回北陸言語学術集会 一般演題(高次脳機能領域)座長	河村民平(座長)
2016.10.16(日)	福井県立大学	北陸言語聴覚療法学術集会 「有効視野検査導入後の運転評価について」	○高間千晶、山口美帆、密山晃代、面湊祐太郎、高岡

			由華、渡辺容子、小林康孝、藤田佳男
2016. 10. 27(木) ～29(土)	茨城県 つくば国際会議場	リハビリテーション・ケア合同研究大会 「有効視野を用いた運転評価」	○高間千晶、山口美帆、密山晃代、面湊祐太郎、高岡由華、渡辺容子、小林康孝、藤田佳男
2016. 11. 5 (土)	福井県自治会館	平成 28 年度福井県高次脳機能障害セミナー～脳卒中と高次脳機能障害を考える～ 「脳卒中リハビリテーションにおける高次脳機能障害」	○前島伸一郎 小林康孝 (座長)

②論文発表

発行日	雑誌名	題名	著者	ページ
2016 年	Turkish Neurosurgery	Predictors of Track Test Performance in Drivers with Stroke	○Yasutaka Kobayashi, Yutaro Omokute, Akiyo Mitsuyama, Yuka Takaoka, Chiaki Takama, Yoko Watanabe	DOI: 10. 5137/1019-5149. JTN. 17358-16. 1
2016 年	言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学 第 2 版, 医学書院	用語解説集の一部執筆 (構音点法, 嗄声, 視覚的フィードバック法)	夏目長門 (編)、他 多数 (河村民平)	P268, 273-274, 274-275
2017 年	Case Rep Neurol.	A Case of Anoxic Brain Injury Presenting with Agraphia of kanji in the Foreground.	Kobayashi Y, Yamauchi R	Mar 20;9(1):36-43. doi: 10.1159/000458434. eCollection 2017 Jan-Apr.
2017 年 3 月	金沢大学大学院 修士論文	左右の手での書字中の前頭葉オキシヘモグロビン濃度変化 - fNIRS 研究 -	高橋宣弘	

③参加・受講

開催日	開催場所	会議名	参加者
2016. 4. 10 (日)	福井県	福井県言語聴覚学術集会	谷原直樹
2016. 5. 28 (土)	石川県立リハビリテーションセンター	石川県高次脳機能障害普及啓発講演	中島裕也
2016. 8. 10 (土)	富山県	高次脳機能障害 県民公開講座・専門研修会	小林康孝、中島裕也、谷原直樹